

上尾市下水道
総合地震対策計画書

令和4年9月

埼玉県上尾市

上尾市下水道総合地震対策計画

(様式1)

1. 対象地区の概要

① 地理的状況

上尾市は、埼玉県南東部、東京都心から35km圏内に位置する、総面積45.51km²の市である。上尾市公共下水道管内は、大宮台地のほぼ中央に位置する起伏の少ない地形で、海拔は約17mあり、市の中心部を鴨川と芝川が流れるほか、西境を荒川が、東境を原市沼川、綾瀬川が流れている。本市は、JR上尾駅を中心に市街地が進捗しており、DID地域を有する都市である。また、首都圏直下地震対策特別措置法に基づく首都直下地震緊急対策区域にも指定されている。

② 下水道施設の配置状況

上尾市の公共下水道は、埼玉県荒川左岸南部流域下水道の流域関連公共下水道として整備が進められており、昭和46年の事業着手後、昭和50年11月に流域下水道に接続通水している。全体計画処理面積2,684ha(内141.5ha合流)、事業計画処理面積2,567ha(内141.5ha合流)、全体計画処理人口180,570人、事業計画処理人口178,120人を対象とした下水道である。また、分流式雨水の計画面積は、全体計画3,857ha、事業計画1,494haとなっており、その他に9つの都市下水路も整備されている。

上尾市公共下水道の施設概要としては、令和元年度時点、汚水ポンプ場6箇所、雨水ポンプ場1箇所、管渠延長約765.2km(分流汚水670.6km、合流38.2km、分流雨水56.4km)について整備済みであり、全体計画汚水量は89,650m³/日(時間最大133,270m³/日、雨天時時間最大163,080m³/日)である。

令和3年度末における上尾市公共下水道の下水道普及率は、処理人口で84.0%となっており、全国における処理人口での平均普及率80.6%(令和3年度末)よりも高い値となっている。

2. 対象地区の選定理由

① 地域防災計画等の上位計画の内容

上尾市地域防災計画(令和4年3月改訂)では、災害対策基本法第42条に基づき、上尾市の地域にかかる災害について、市民の生命、身体及び財産を保護するために策定され、「下水道施設」に関しては、「施設の安定化、応急資材の確保、下水道台帳の整備、応援協力体制の整備」等を図っていくとしている。また、指定避難所や災害用マンホールトイレの整備等についても示している。

② 地形・土質条件

上尾市の地形は、埼玉県南東部の大宮台地のほぼ中央部に位置しており、東西を綾瀬川と荒川に挟まれている。市域はその大部分が台地上にあり、台地の多くは開析谷によって刻まれている。その主なものは、西方から江川、鴨川、芝川、原市沼川である。市域の大宮台地の標高は、北部で約20m、南部で約15mと南に低くなっている。

また、台地を横断する南西から北東方向でみると、全体に西に高く東に低くなる傾向が認められる。低地の地形は、大河川沿いに発達する荒川低地、綾瀬川低地と台地内にその水源をもつ比較的小規模な開析谷（谷底平野、谷地ともいう）とに分けることができる。台地には洪積層が、氾濫平野や谷底平野などの低地には沖積層が分布している。

土質は表土約30cm内外で関東ローム層をなし、低地帯はやわらかい粘土層で軟弱な地盤を形成しており、地下水位も高い。「埼玉県地震被害想定調査結果」において、荒川低地や綾瀬川低地の一部が液状化の発生する危険度が高いことが想定されているが、台地部などの大部分は液状化の危険度は極めて低いと想定されている。

③ 過去の地震記録

過去に埼玉県に大きな被害を与えた地震としては、1855年の安政江戸地震、1923年の関東大地震、1931年の西埼玉地震等が挙げられる。直近の大きな地震としては、2011年の東北地方太平洋沖地震があるが、上尾市では震度5弱が観測されたものの市内における地震による大きな被害は報告されていない。上尾市公共下水道の下水道施設への影響についても、停電の他は特に確認されていない。

④ 道路・鉄道の状況

上尾市は、市の中央部に都心と直結するJR高崎線が走っており、上尾駅と北上尾駅の2駅がある。また、南東部にはさいたま市の大宮駅と伊奈町の内宿駅を結ぶ埼玉新都市交通（ニューシャトル）も高架で通っており（JR東北・上越新幹線も平行している）、原市駅と沼南駅の2駅がある。最南東部にはJR宇都宮線も通っているが、市内に駅はない。JR高崎線等の鉄道軌道下を管渠が横断している箇所があるが、耐震性能については未確認である。

本市の中央部には、国道17号が走っており、西部には国道17号上尾バイパス（上尾道路）が平成28年4月に開通している。また、国道17号の少し西には鴻巣桶川さいたま線（旧中山道）がある。その他の主要道路としては、上尾環状線、上尾久喜線、川越上尾線などの道路がある。県により国道17号、上尾道路、国道16号、さいたま栗橋線が第一次特定緊急輸送路に指定されているほか、川越上尾線、川口上尾線、上尾環状線、さいたま菖蒲線が第一次緊急輸送路に指定されている。この他にも県道、市道等の7路線が第二次緊急輸送路に指定されている。また、市指定の緊急輸送路も9路線指定されている。

上尾市公共下水道の管渠は、緊急輸送道路下に総延長で污水管渠約17.7km、合流管渠約2.8km、雨水管渠約8.0kmが布設されているが、これら管渠の耐震性能は未確認の部分が多い。緊急輸送道路は、大規模地震時においても「交通機能の確保」が必須であるため、緊急輸送道路下に埋設されている管渠の耐震性能の確認、確保が急務である。

⑤ 防災拠点・避難地・要配慮者関連施設・感染症拠点病院・災害拠点病院の状況

「上尾市地域防災計画」において、防災中枢拠点を市役所とし、防災副拠点としては市民体育館など3箇所、防災地区拠点としては各支所の5箇所（市役所除く）とし、拠点避難所として学校を中心に14箇所、避難所として34箇所（市民体育館含む）

を指定している。また、避難所は指定避難所、指定緊急避難場所、拠点避難所を指定するとともに、要配慮者関連施設として福祉避難所も32箇所指定している。

これらの防災拠点においては、防災用資機材(道路、河川、下水道などの応急復旧活動に必要な資機材)の備蓄場所として活用することとなっている。また、これら防災拠点、避難所や応急仮設住宅建設予定地の一部では災害用マンホールトイレの設置を順次進めている(21箇所設置済み)。

また、上尾市内では上尾中央総合病院が災害拠点病院及び第二種感染症指定医療機関に指定されている。

⑥ 対象地区に配置された下水道施設の耐震化状況

管路施設

上尾市の流域関連公共下水道は、昭和46年に事業開始し、令和3年度末における下水道普及率は、処理人口で84.0%に達している。管路施設については、「下水道施設の対策指針と解説 1997年版」((社)日本下水道協会)以後の平成10年度(1998年度)以降の施工施設については、耐震性能(レベル2地震動)を有する施設として整備されている。しかし、それ以前に整備された施設については、耐震性能を有しているか未確認であり、耐震診断を行って、必要に応じて耐震化を図る必要がある。

分流污水管 総延長：670.6km

・特に重要な幹線等：38.5km

耐震性能有：10.9km

耐震性未確認：27.6km

・その他の重要な幹線等：43.1km

耐震性能有：15.0km

耐震性未確認：28.1km

・その他の管路：589.0km

耐震性能有：270.6km

耐震性未確認：318.4km

・圧送区間：10箇所

耐震性能有：5箇所

耐震性未確認：5箇所

・伏越区間：1箇所

耐震性未確認：1箇所

・人孔総数：21,868基

耐震性能有：12,558基

耐震性未確認：9,310基

合流管 総延長：38.2km

・特に重要な幹線等：3.9km

耐震性能有：0.0km

耐震性未確認：3.9km

・その他の重要な幹線等：2.7km

耐震性能有：0.0km

耐震性未確認：2.7km

・その他の管路：31.6km
耐震性能有：0.9km
耐震性未確認：30.7km

・人孔総数：1,184基
耐震性能有：336基
耐震性未確認：848基

雨水管（分流）総延長：56.4km

・特に重要な幹線等：16.5km
耐震性能有：2.5km
耐震性未確認：14.0km

・その他の重要な幹線等：0.0km

・その他の管路：39.9km
耐震性能有：11.7km
耐震性未確認：28.2km

・人孔総数：1,026基
耐震性能有：397基
耐震性未確認：629基

都市下水路（暗渠部分）総延長：12.6km

耐震性能有：1.5km
耐震性未確認：11.1km

ポンプ場

ポンプ場施設については、建築部分についての耐震性能は確保されているが、土木施設についての耐震性能については、平成10年度以降施工の丸山雨水ポンプ場を除いて確認されておらず、耐震性能の確認、確保が急務である。

《柏座汚水ポンプ場》

耐震性能有：建築施設
未対応施設：土木施設

《芝川汚水ポンプ場》

耐震性能有：建築施設
未対応施設：土木施設

《本山汚水ポンプ場》

耐震性能有：建築施設
未対応施設：土木施設

《吉田下汚水ポンプ場》

耐震性能有：建築施設
未対応施設：土木施設

《五番町汚水ポンプ場》

耐震性能有：建築施設

未対応施設：土木施設
 《尾山台汚水ポンプ場》
 耐震性能有：建築施設
 未対応施設：土木施設
 《丸山雨水ポンプ場》
 耐震性能有：建築・土木施設

⑦ 実施要綱に示した地区要件の該当状況

上尾市は、DID地域を有しており、また、首都圏直下地震対策特別措置法に基づく首都直下地震緊急対策区域にも指定されていることから、地区要件の(ア)及び(オ)に該当する。また、上水道の取水地点である秋ヶ瀬取水堰より上流に位置する処理区域が一部あることから、地区要件(カ)にも該当する。

3. 計画目標

① 対象とする地震動

平成25年度の埼玉県地震被害想定結果において、上尾市内の液状化の可能性が最も高く、下水道の被害想定においても最も高い被害が想定されていることを考慮し、以下に示す地震動とする。

関東平野北西縁断層帯地震（破壊開始点南） [想定マグニチュード8.1]

② 本計画で付与する耐震性能

■管路施設

大規模地震時においても

- ・最低限の下水道の流下機能を確保する。
- ・緊急輸送道路等の交通機能を確保するため、軌道下、緊急輸送道路下の管渠の耐震化を図る。
- ・重要な施設の機能を維持するため、重要な施設に通じる管渠の耐震化を図る。

■ポンプ場

大規模地震時においても

- ・送水機能を確保するため沈砂池ポンプ棟施設の本体の耐震化を図る。

■管路施設

流下機能の確保

- ・特に重要な幹線等（分流汚水、合流）の管路の詳細耐震診断を行い、耐震性能を明らかにする。
- ・特に重要な幹線等（分流汚水、合流）の中で、特に重要な施設の排水を受け持つ最も優先順位の高い芝川汚水第5幹線の一部区間の耐震化を図る。

交通機能の確保

- ・緊急輸送道路下、軌道下のうち、特に交通機能への影響が大きい、耐震性が確保できていない軌道下横断部（高架下は除く）の詳細耐震診断、耐震補強設計及び耐震化工事（分流汚水、合流、都市下水路暗渠部）を実施する。

※本計画期間(5箇年)内に防災対策で完了しない対策については、減災対策で補完し、大規模地震時においても流下機能と交通機能を確保する。

■ポンプ場施設

送水機能の確保

- ・6つの汚水ポンプ場（柏座、芝川、本山、吉田下、五番町、尾山台）の耐震診断を実施する。
- ・耐震診断の結果を受けて、3つの汚水ポンプ場（芝川、本山、五番町）の耐震補強設計を行う。
- ・耐震診断の結果を受けて、2つの汚水ポンプ場（芝川、本山ポンプ場）の耐震補強工事を行う。

※本計画期間(5箇年)内に防災対策で完了しない対策については、減災対策で補完し、大規模地震時においてもすべてのポンプ場で送水機能を確保する。

4. 計画期間

令和5年度 ～ 令和9年度（5箇年）

5. 防災対策の概要

■管路施設

特に重要な幹線等の詳細耐震診断を実施し、そのうち特に優先度の高い区間について耐震補強設計及び耐震化を図る。それにより交通機能と送水機能を概ね確保する。

耐震性能の確認

- ・ 特に重要な幹線等の詳細耐震診断（平成9年度以前施工の管路、分流雨水は除く）
 - 分流污水管渠：約 27.6km
 - 合流管渠：約 3.9km
 - 都市下水路（暗渠部）：約 0.03km（軌道下のみ）

交通機能の確保

- ・ 分流污水・合流管路の耐震補強設計及び耐震化工事
 - 軌道下の管路：約 0.2km
 - 特に重要な幹線等のうち、高優先度（特に重要な施設の排水を受け、かつ、緊急輸送道路下等）の管路：約 0.4km
- ・ 都市下水路（暗渠部）の耐震補強設計及び耐震化工事
 - 軌道下の暗渠部の耐震補強工事：約 0.03km

■ポンプ場施設

送水機能の確保を目指し、耐震性能が未確認な6つの污水ポンプ場の沈砂池ポンプ棟本体及び流入・流出施設の耐震診断を行う。耐震診断の結果を受けて、耐震性能が不足する施設については、優先順位に応じて耐震対策あるいは減災対策で対応することにより、ポンプ場の送水機能を確保する。今回計画では、以下の污水ポンプ場の耐震化（耐震補強設計・耐震補強工事）を実施する。

送水機能の確保

- ・ 沈砂池ポンプ施設の詳細耐震診断
 - 柏座、芝川、本山、吉田下、五番町、尾山台污水ポンプ場
- ・ 沈砂池ポンプ施設の耐震補強設計
 - 芝川、本山、五番町污水ポンプ場
- ・ 沈砂池ポンプ施設の耐震補強工事
 - 芝川、本山污水ポンプ場

6. 減災対策の概要

■マンホールトイレシステムの整備

避難所における災害用マンホールトイレシステムの整備を引き続き進め、被災時のバックアップ機能の拡充を図る。

■管渠施設

震災時の被災により、流下機能の確保が困難となった場合、緊急的な流下機能の回復を図るための仮設資機材(可搬式ポンプ、可搬式発電機、排水ホース等)の配備の拡充を図る。

■ポンプ場施設

揚水のためのポンプ場については、被災した場合に可搬式ポンプ及び排水ホースにより、流入部から流出部に送水することにより、揚水及び送水機能を確保する。

また、圧送を行っているポンプ場についても、揚水及び流下機能の確保に極力努める。

7. 計画の実施効果

管路施設

本計画で実施する詳細耐震診断により、特に重要な幹線等の耐震性能が把握できる。それによって、優先順位の高い軌道下や、特に有用な施設の排水を受ける緊急輸送道路下等の高優先度の管路の耐震補強設計及び耐震化を図る。

これらのことにより、下水道として必要な「汚水を処理場まで送る」という流下機能の維持・確保及び交通機能の維持・確保の一部に資することができる。また、それに伴い、公衆衛生の確保等にも資することができる。

なお、本計画期間(5箇年)内に防災対策で完了しない対策については、減災対策で補完し、大規模地震時においても流下機能と交通機能を確保を図る。

ポンプ場施設

すべての汚水ポンプ場(柏座、本山、吉田下、芝川、五番町、尾山台)について、耐震性能の確認を行い、その結果を基に耐震補強設計、耐震補強工事を実施する。これにより、揚水機能、送水機能が確保される。なお、耐震化までの間、耐震性能が不足する場合には、減災対策を実施することにより、送水機能が確保される。

マンホールトイレの整備、下水道BCP

マンホールトイレの整備を進めることにより、生活環境の保全(トイレ使用の確保)に資することができる。また、下水道BCPに基づく研修・訓練等により、下水道機能の早期回復・維持に資することができる。

8. 下水道BCP策定状況

- ・ **有** (平成26年3月12日制定、最新改定令和4年4月15日)
- ・ 策定予定 令和5年4月改定予定

(様式 2)

市町村名 (都道府県名)	埼玉県上尾市	計画対象面積	2,684 ha
緊急に実施すべき対策 (整備概要)	<p>【防災対策】</p> <p>(管路施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に重要な幹線等の詳細耐震診断 (合流：約 3.9km、分流汚水：約 27.6km、都市下水路暗渠部 (軌道下のみ)：約 0.03km) ・軌道下の管路 (分流汚水、合流) の耐震補強設計及び耐震化工事 (管口可とう化含む)：約 0.2km、可とう化 8 箇所 ・軌道下の管路 (都市下水路暗渠部) の耐震補強設計及び耐震化工事 (管口可とう化含む)：約 0.03km ・特に重要な施設の排水を受け、かつ、緊急輸送道路下等の最も優先順位の高い管路 (分流汚水：軌道下除く) の耐震補強設計及び耐震化工事 (管口可とう化含む)：約 0.4km、可とう化 20 箇所 <p>(ポンプ場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚水ポンプ場 (6 ポンプ場：柏座、芝川、本山、吉田下、五番町、尾山台) (沈砂池ポンプ棟、流入・流出施設) の詳細耐震診断 ・汚水ポンプ場 (3 ポンプ場：芝川、本山、五番町) の耐震補強設計 ・汚水ポンプ場 (2 ポンプ場：芝川、本山) の耐震補強工事 <p>【減災対策】</p> <p>(その他施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンホールトイレシステムの整備 10 箇所 ・可搬式ポンプ、可搬式発電機、排水ホース、その他資機材の備蓄 		

備考 計画期間内に耐震化・整備する全ての施設の概要を具体的に記入する。

管 渠 調 書								
管渠の 名称	処理区の名称	合流・ 汚水・ 雨水 の別	主要な 管渠内 法寸法 (ミリメートル)	耐震化 対象延長 (キロメートル)	事業内容 (耐震化工法)	概算 事業費 (百万円)	工期	備考
特に重要な幹線等	荒川左岸南部処理区の鴨川第1～6、10、11、芝川第1、2-2、2-3、3-1、3-3、4、荒川第1処理分区	汚水合流	φ150～φ1800	約31.5	管路施設の 詳細耐震診断	120	R5- R6	特に重要な幹線等 全て
〃	綾瀬川第2排水区	都市 下水路	□2800× 2800	約0.03	管路施設の 詳細耐震診断	9	R5	軌道下 (伏越し 管)
特に重要な幹線等	鴨川第2、5処理分区	汚水 合流	φ700～ φ1800	約0.6	管路施設の 耐震補強設計	12	R7	緊急輸送 路下等及 びその下 流と軌道 下
〃	綾瀬川第2排水区	都市 下水路	□2800× 2800	0.03	管路施設の 耐震補強設計	6	R6	軌道下 (伏越し 管)
軌道下の管路	鴨川第2、5処理分区	汚水 合流	φ900～ φ1800	0.2	管路の耐震化工事 ・管更生工法 ・可とう化8箇所	100	R8	軌道下
軌道下の管路	綾瀬川第2排水区	都市 下水路	□2800× 2800	0.03	管路の耐震化工事 ・管更生工法	53	R7	軌道下 (伏越し 管)
芝川汚水第5幹線	鴨川第5処理分区	汚水	φ700～ φ900	0.4	管路の耐震化工事 ・管更生工法 ・可とう化20箇所	138	R9	緊急輸送 路下等及 びその下 流
計				延べ 約32.79		438		

備考

- 1 耐震化事業を実施する管渠を記入する。
- 2 事業内容は「管更生工法」「可とう管化」等を記入する。
- 3 マンホールの浮上防止対策についても本調書に記入し、備考欄に対象マンホール数を記入する。
- 4 備考欄には、地震対策上の位置付けを記入する。

ポンプ施設調書						
ポンプ場 施設名称	耐震化対象 施設名	施設能力	事業内容 (耐震化工法)	概算事業費 (百万円)	工期	備考
柏座 ポンプ場	沈砂池 ポンプ棟	7.9m ³ /分	詳細耐震診断	14	R6	
芝川 ポンプ場	沈砂池 ポンプ棟	12.5m ³ /分	詳細耐震診断	13	R5	
本山 ポンプ場	沈砂池 ポンプ棟	17.2m ³ /分	詳細耐震診断	14	R5	
吉田下 ポンプ場	沈砂池 ポンプ棟	10.8m ³ /分	詳細耐震診断	13	R6	
五番町 ポンプ場	沈砂池 ポンプ棟	13.9m ³ /分	詳細耐震診断	13	R5	
尾山台 ポンプ場	沈砂池 ポンプ棟	7.3m ³ /分	詳細耐震診断	13	R6	
芝川 ポンプ場	沈砂池 ポンプ棟	12.5m ³ /分	耐震補強設計	13	R8	
芝川 ポンプ場	沈砂池 ポンプ棟	12.5m ³ /分	耐震補強工事	50	R9	
本山 ポンプ場	沈砂池 ポンプ棟	17.2m ³ /分	耐震補強設計	15	R7	
本山 ポンプ場	沈砂池 ポンプ棟	17.2m ³ /分	耐震補強工事	50	R8	
五番町 ポンプ場	沈砂池 ポンプ棟	13.9m ³ /分	耐震補強設計	13	R9	
計 6箇所				221		

備考

- 1 耐震化対象施設名については「ポンプ井」「雨水滞水池」等と記入する。
- 2 施設能力は、施設ごとに単位を含めて記入する。

その他施設調書							
施設名称	設置場所	能力	設置数量	事業内容 (耐震化工法)	概算事業費 (百万円)	工期	備考
可搬式ポンプ		2.0m ³ /分	5台	新設	災害協定により調達 (費用は見込まない)	-	
可搬式発電機		25kVA	5台	新設	災害協定により調達 (費用は見込まない)	-	
排水ホース		φ200	200m	新設	災害協定により調達 (費用は見込まない)	-	
マンホール トイレシステム	2箇所		16基× 2箇所	設計	10	R5	
〃	〃		16基× 2箇所	工事	40	R5	
〃	2箇所		16基× 2箇所	設計	10	R6	
〃	〃		16基× 2箇所	工事	40	R6	
〃	2箇所		16基× 2箇所	設計	10	R7	
〃	〃		16基× 2箇所	工事	40	R7	
〃	2箇所		16基× 2箇所	設計	10	R8	
〃	〃		16基× 2箇所	工事	40	R8	
〃	2箇所		16基× 2箇所	設計	10	R9	
〃	〃		16基× 2箇所	工事	40	R9	
計					250		

			年次計画及び年割額					(百万円)	
工事内容			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	事業量
管路施設	特に重要な幹線等	管路施設の詳細耐震診断(分流汚水・合流)	60	60	0	0	0	120	31.5km
	〃	管路施設の詳細耐震診断(都市下水道)	9	0	0	0	0	9	0.03km
	特に重要な幹線等	管路施設の耐震補強設計(分流汚水・合流)	0	0	12	0	0	12	0.6km
	〃	管路施設の耐震補強設計(都市下水道)	0	6	0	0	0	6	0.03km
	軌道下の管路	管路の耐震化工事、管口の可とう化(分流汚水・合流)	0	0	0	100	0	100	0.2km 8箇所
	軌道下の管路	管路の耐震化工事(都市下水道)	0	0	53	0	0	53	0.03km
	特に重要な幹線等	優先度の高い管路の耐震化工事、管口の可とう化(芝川汚水第5幹線の一部)	0	0	0	0	138	138	0.4km 20箇所
	計		69	66	65	100	138	438	
ポンプ施設	柏座ポンプ場	沈砂池ポンプ棟 詳細耐震診断	0	14	0	0	0	14	
	芝川ポンプ場	沈砂池ポンプ棟 詳細耐震診断	13	0	0	0	0	13	
	本山ポンプ場	沈砂池ポンプ棟 詳細耐震診断	14	0	0	0	0	14	
	吉田下ポンプ場	沈砂池ポンプ棟 詳細耐震診断	0	13	0	0	0	13	
	五番町ポンプ場	沈砂池ポンプ棟 詳細耐震診断	13	0	0	0	0	13	
	尾山台ポンプ場	沈砂池ポンプ棟 詳細耐震診断	0	13	0	0	0	13	
	芝川ポンプ場	沈砂池ポンプ棟 耐震補強設計	0	0	0	13	0	13	
	芝川ポンプ場	沈砂池ポンプ棟 耐震補強工事	0	0	0	0	50	50	
	本山ポンプ場	沈砂池ポンプ棟 耐震補強設計	0	0	15	0	0	15	
	本山ポンプ場	沈砂池ポンプ棟 耐震補強工事	0	0	0	50	0	50	
	五番町ポンプ場	沈砂池ポンプ棟 耐震補強設計	0	0	0	0	13	13	
	計		40	40	15	63	63	221	
その他施設	可搬式ポンプ	2.0m ³ /分×5台	-	-	-	-	-	-	災害協定により調達
	可搬式発電機	25kVA×5台	-	-	-	-	-	-	〃
	排水ホース	φ200、L=200m	-	-	-	-	-	-	〃
	マンホールトイレシステム	設計	10	10	10	10	10	50	2箇所/年×5年=10箇所
	〃	工事	40	40	40	40	40	200	2箇所/年×5年=10箇所
	計		50	50	50	50	50	250	
合計			159	156	130	213	251	909	

備考

- 1 調書に位置付けた施設について年割額（事業費）を記入する。
- 2 整備済のものは含めない。
- 3 事業量には事業毎に単位を記入する。

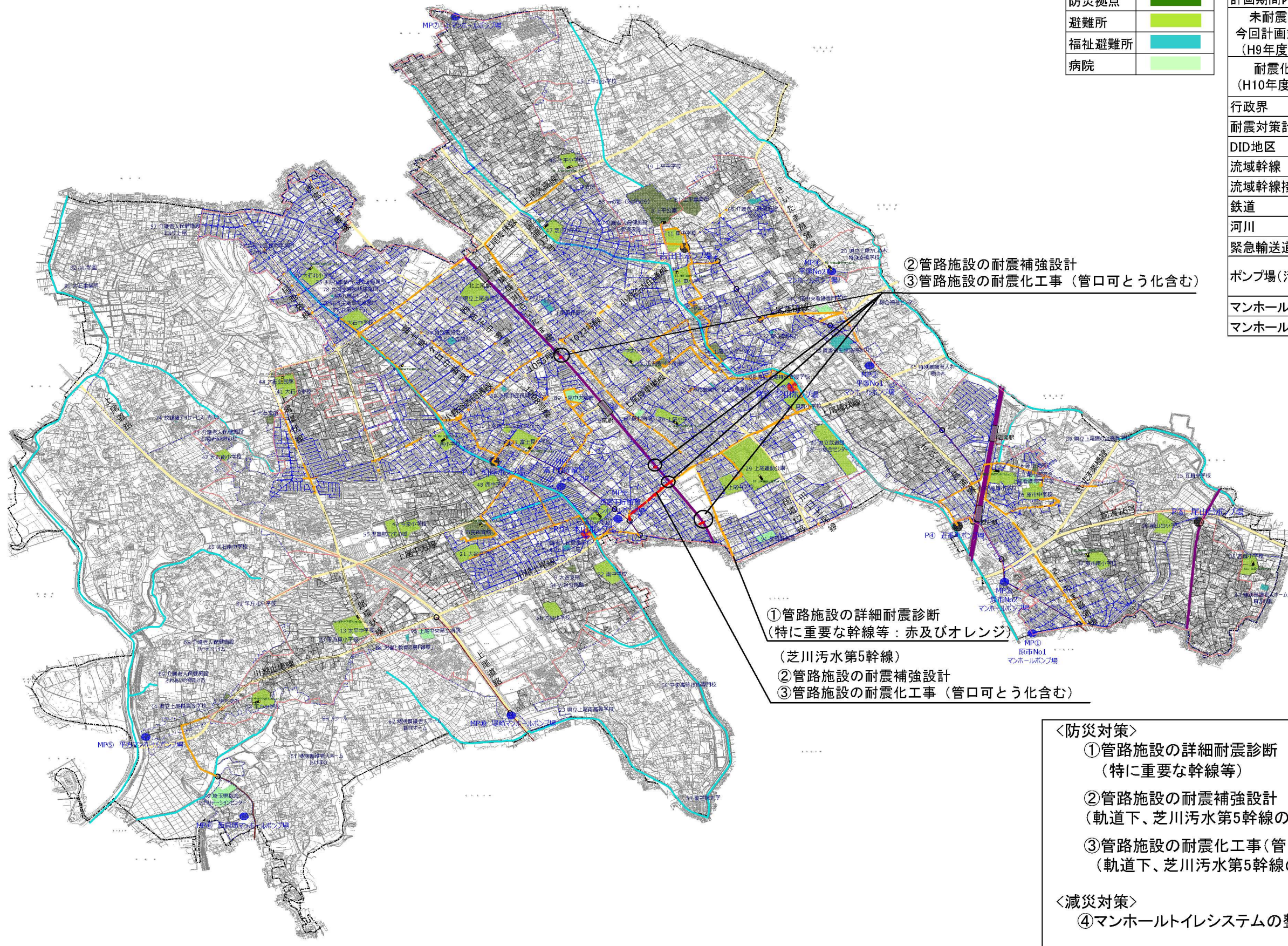
(参考図面) 別紙のとおり

- ・ 上尾市公共下水道総合地震対策計画図(管渠：分流汚水・合流)
- ・ 上尾市公共下水道総合地震対策計画図(管渠：分流雨水：都市下水路)
- ・ 上尾市公共下水道総合地震対策計画図(柏座ポンプ場)
- ・ 上尾市公共下水道総合地震対策計画図(芝川ポンプ場)
- ・ 上尾市公共下水道総合地震対策計画図(本山ポンプ場)
- ・ 上尾市公共下水道総合地震対策計画図(吉田下ポンプ場)
- ・ 上尾市公共下水道総合地震対策計画図(五番町ポンプ場)
- ・ 上尾市公共下水道総合地震対策計画図(尾山台ポンプ場)
- ・ 上尾市公共下水道総合地震対策計画図(丸山雨水ポンプ場)

下水道総合地震対策計画図（分流汚水・合流）

拠点凡例	
防災拠点	■
避難所	■
福祉避難所	■
病院	■

凡例		
計画期間内施工予定		←
未耐震かつ 今回計画対象外 (H9年度以前)	特に重要な幹線等	←
	その他の路線	←
耐震化済 (H10年度以降)	特に重要な幹線等	←
	その他の路線	←
行政界		- · - ·
耐震対策計画対象エリア		- · - ·
DID地区		□
流域幹線		—
流域幹線接続点		○
鉄道		—
河川		—
緊急輸送道路		—
ポンプ場(汚水)	計画期間内施工予定	●
	その他	●
マンホールポンプ場		●
マンホールトイレ		●

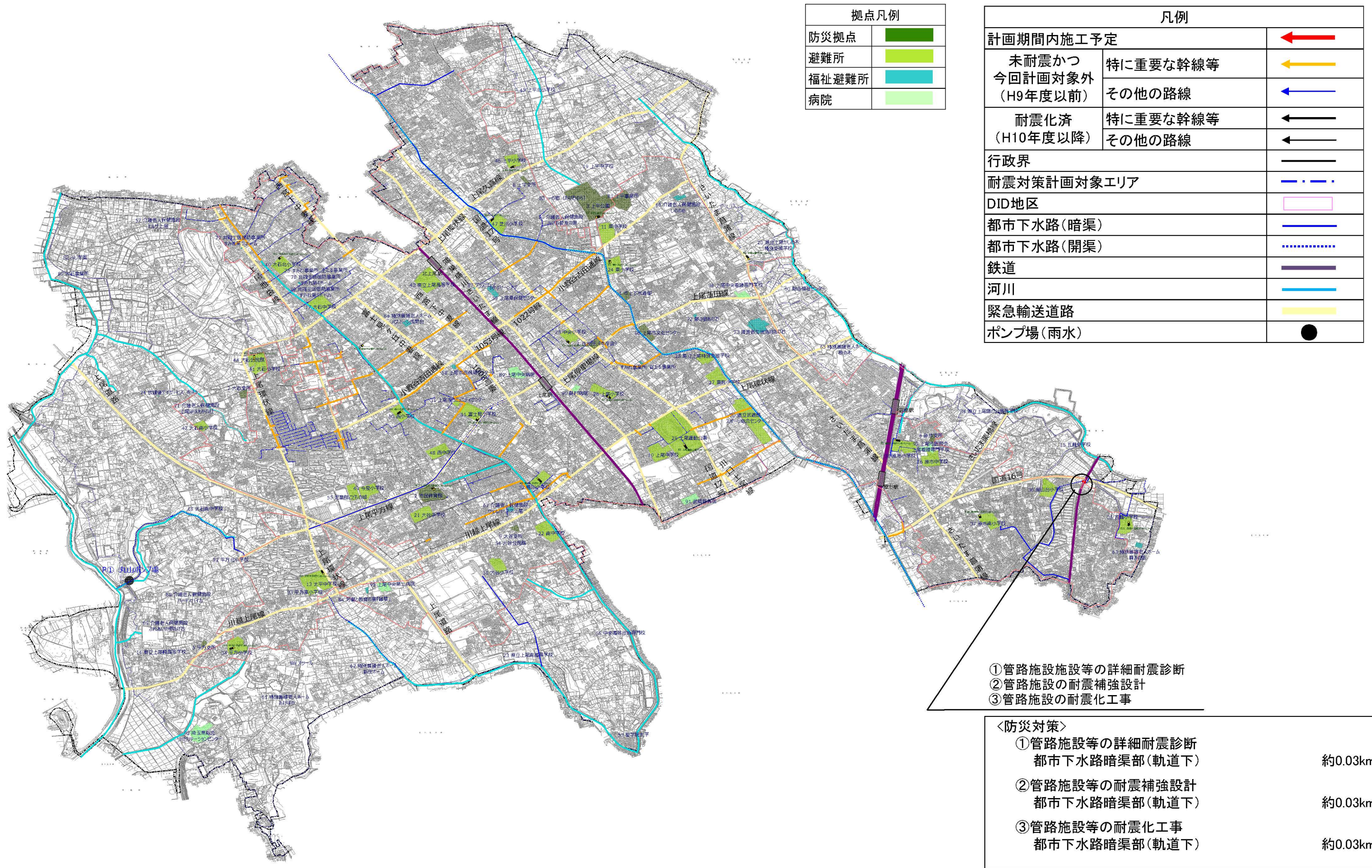


②管路施設の耐震補強設計
③管路施設の耐震化工事（管口可とう化含む）

①管路施設の詳細耐震診断
（特に重要な幹線等：赤及びオレンジ）
（芝川汚水第5幹線）
②管路施設の耐震補強設計
③管路施設の耐震化工事（管口可とう化含む）

＜防災対策＞	
①管路施設の詳細耐震診断 （特に重要な幹線等）	約31.5km
②管路施設の耐震補強設計 （軌道下、芝川汚水第5幹線の一部）	約0.6km
③管路施設の耐震化工事（管口可とう化含む） （軌道下、芝川汚水第5幹線の一部）	約0.6km
＜減災対策＞	
④マンホールトイレシステムの整備	10箇所

下水道総合地震対策計画図（分流雨水・都市下水路暗渠部）



防災拠点	■
避難所	■
福祉避難所	■
病院	■

計画期間内施工予定	←	
未耐震かつ 今回計画対象外 (H9年度以前)	特に重要な幹線等	←
	その他の路線	←
耐震化済 (H10年度以降)	特に重要な幹線等	←
	その他の路線	←
行政界	—	
耐震対策計画対象エリア	—	
DID地区	□	
都市下水路(暗渠)	—	
都市下水路(開渠)	—	
鉄道	—	
河川	—	
緊急輸送道路	—	
ポンプ場(雨水)	●	

- ①管路施設等の詳細耐震診断
- ②管路施設の耐震補強設計
- ③管路施設の耐震化工事

①管路施設等の詳細耐震診断 都市下水路暗渠部(軌道下)	約0.03km
②管路施設等の耐震補強設計 都市下水路暗渠部(軌道下)	約0.03km
③管路施設等の耐震化工事 都市下水路暗渠部(軌道下)	約0.03km

柏座ポンプ場 総合地震対策計画

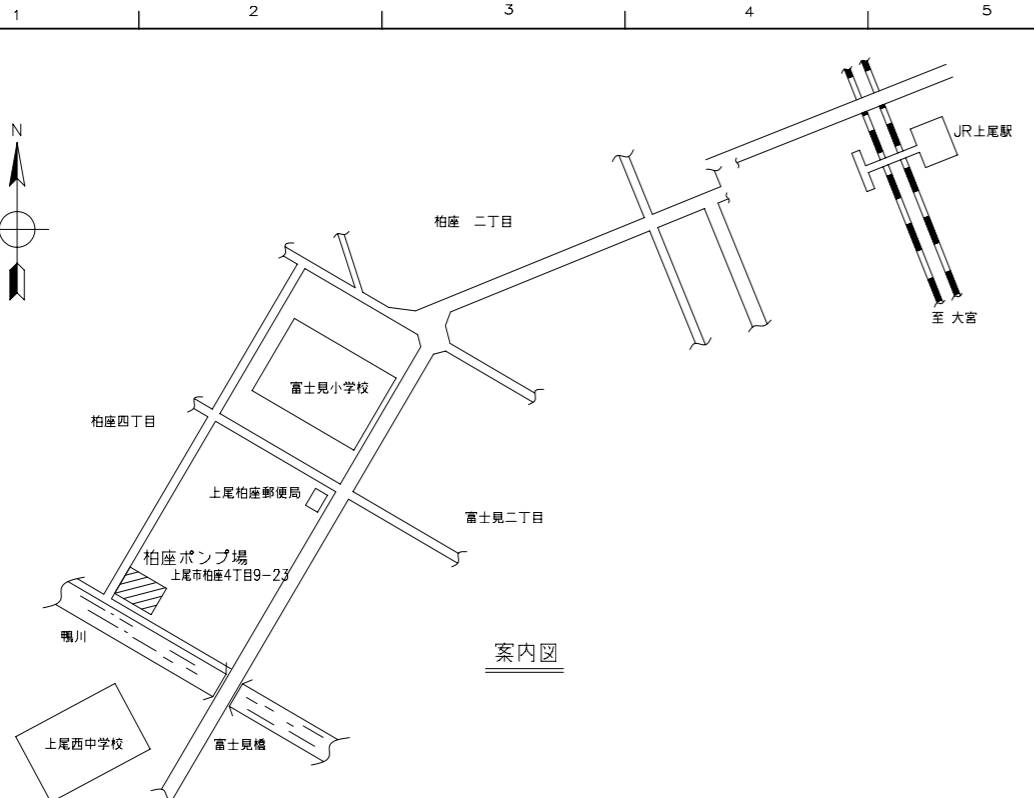
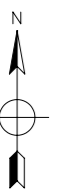
〈防災対策〉

- ①沈砂池ポンプ棟の詳細耐震診断
- ②沈砂池ポンプ棟の耐震補強設計
- ③可搬式ポンプ棟の耐震補強工事

〈減災対策〉

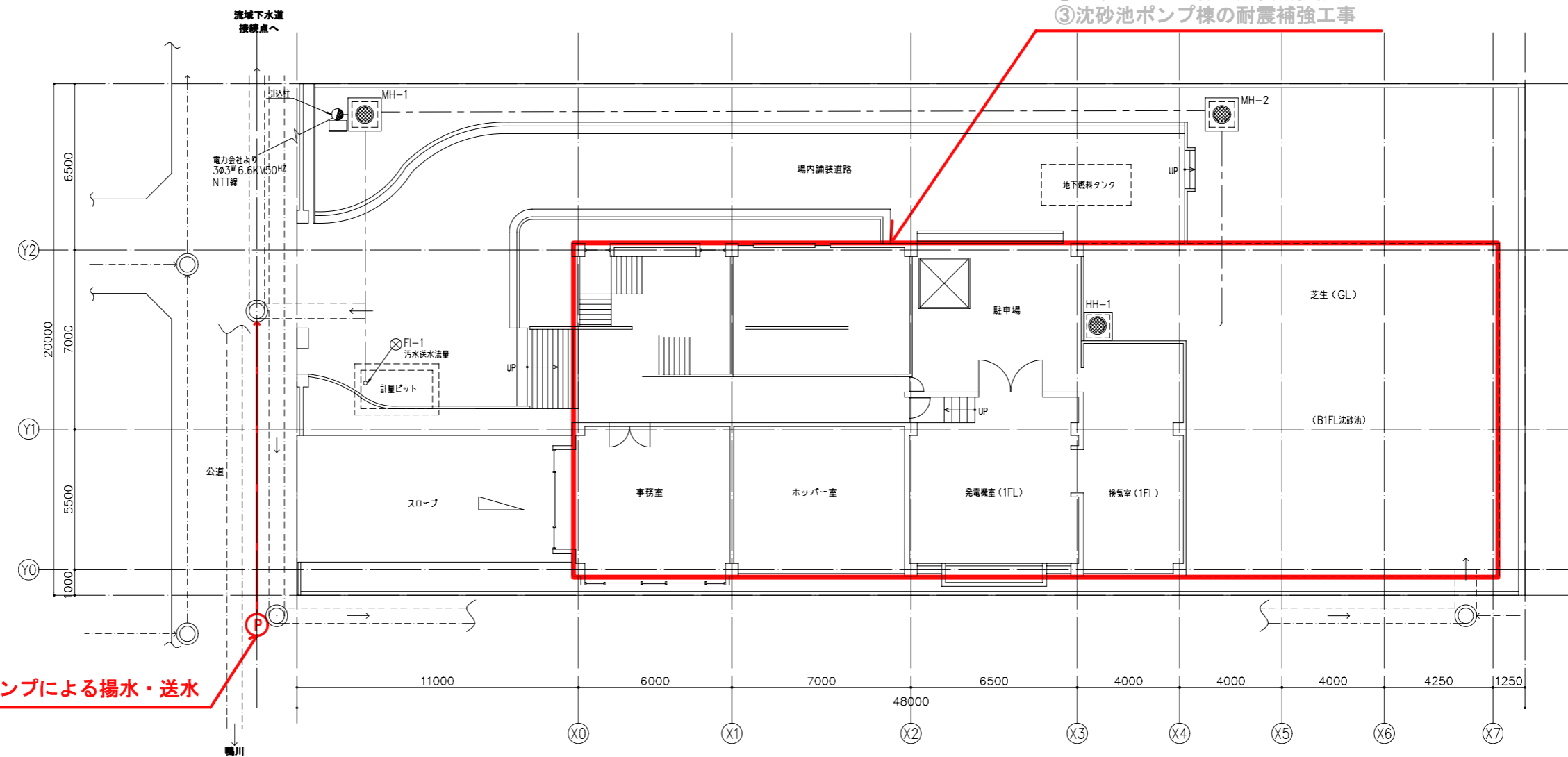
- ④可搬式ポンプによる揚水・送水

凡例	
	未耐震かつ今回計画対象外
	耐震化済み
	計画期間内施工予定



- ①沈砂池ポンプ棟の詳細耐震診断
- ②沈砂池ポンプ棟の耐震補強設計
- ③沈砂池ポンプ棟の耐震補強工事

- ④可搬式ポンプによる揚水・送水

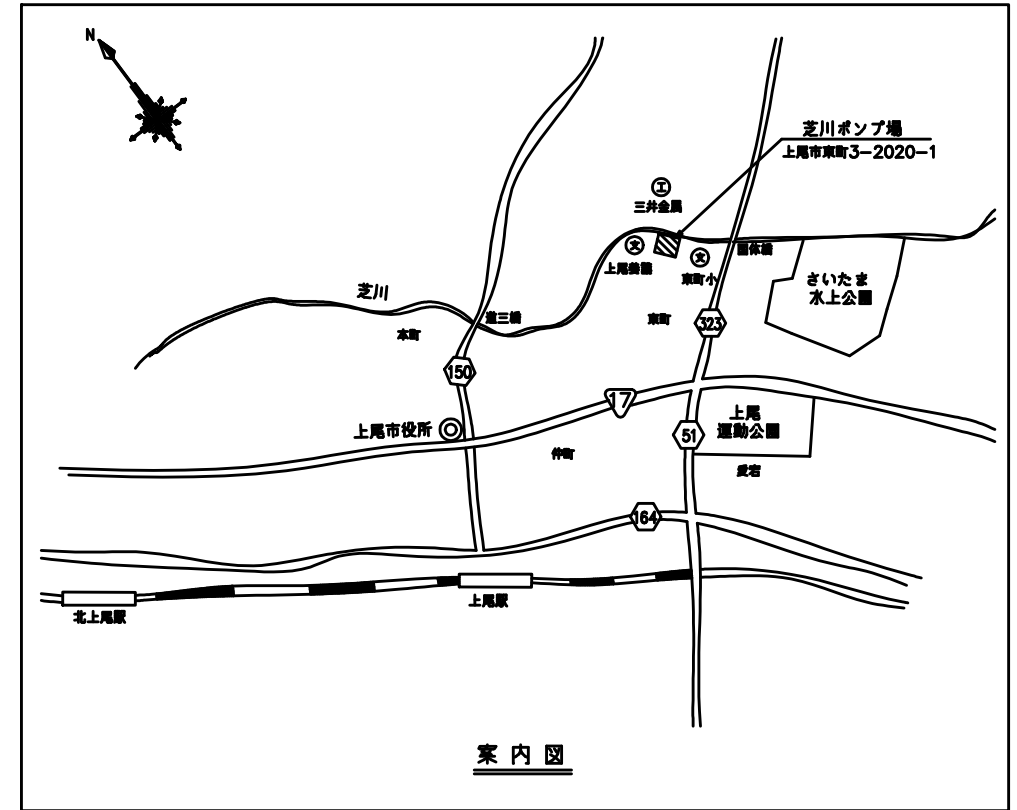
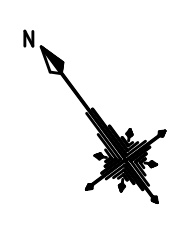


REVISIONS	DRAWN	DATE	NAME	APPROVED	SCALE	図示	TITLE	DRAWING NO.	BLOCK CODE
	CHECKED								
REF.							TITLE	上尾市柏座ポンプ場トイレ改修工事	
							TITLE	案内図・場内平面図	

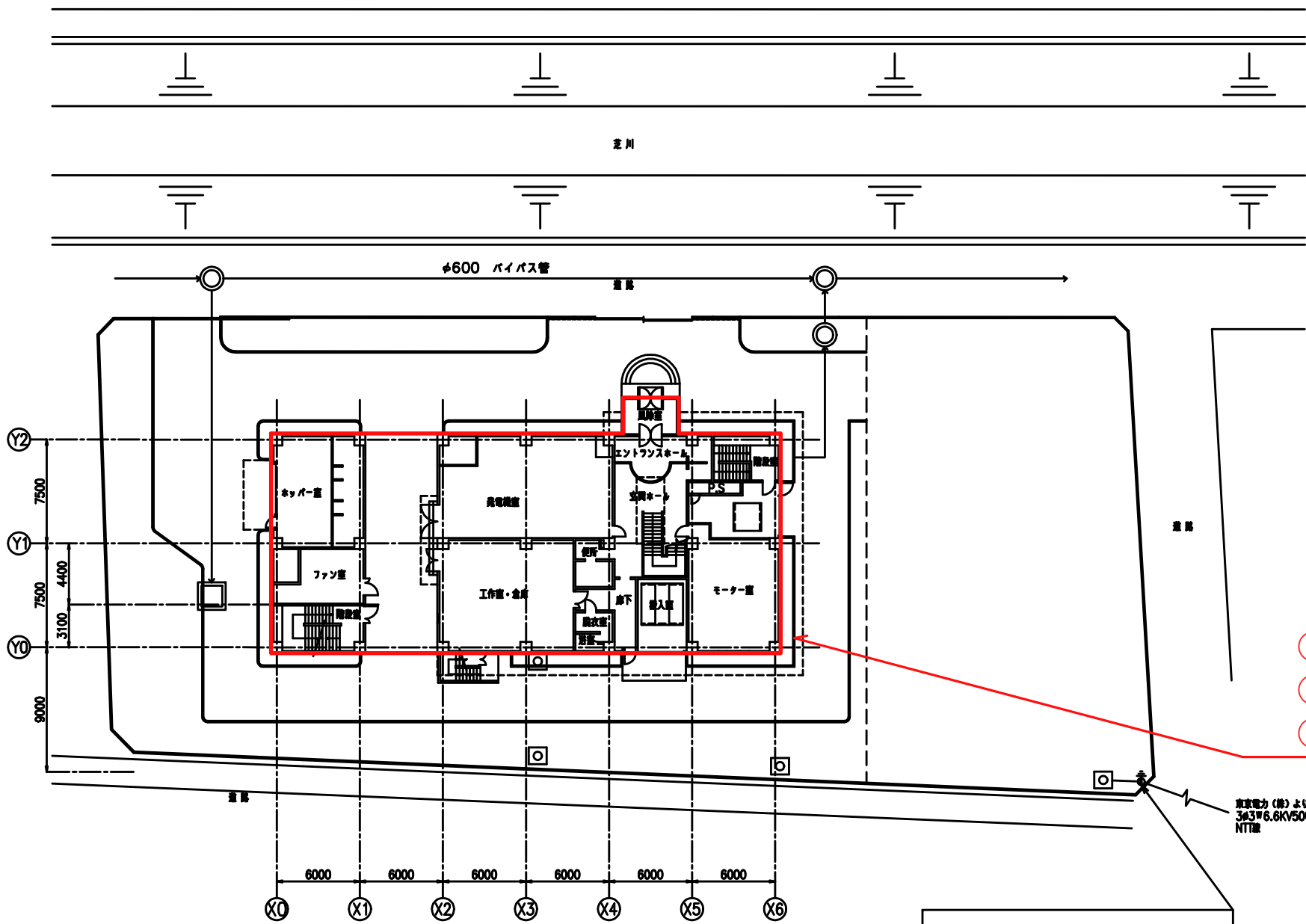
芝川ポンプ場 総合地震対策計画

〈防災対策〉

- ① 沈砂池ポンプ棟の詳細耐震診断
- ② 沈砂池ポンプ棟の耐震補強設計
- ③ 沈砂池ポンプ棟の耐震補強工事



案内図



全体平面図 S=1/200

- ① 沈砂池ポンプ棟の詳細耐震診断
- ② 沈砂池ポンプ棟の耐震補強設計
- ③ 沈砂池ポンプ棟の耐震補強工事

1. 高圧気中開閉器・引込柱状柱材は、既設流用とする。
2. 接地網は、既設流用とする。
3. 地中電線路は、既設流用とする。
4. 高圧引込みケーブルは、既設流用とする。

凡例	
— (thin line)	未耐震かつ今回計画対象外
— (thick line)	耐震化済み
— (red line)	計画期間内施工予定

This document and the information herein is the property of Fuji Electric Systems Co., Ltd. No part of this document may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or by any information storage and retrieval system, without the prior written consent of Fuji Electric Systems Co., Ltd.

REVISONS	DATE	NAME	APPROVED	SCALE	上尾市 総合電気設備改善更新工事 芝川ポンプ場 芝川ポンプ場	195FD0298-2-001 案内図及び全体平面図
	DRAWN	HI7-6-7	M.Onoda	1:200		
	CHECKED	HI7-6-7	M.Onoda	± #	JOB NO. 95FD0298 10/S NO. C18740	上尾市 総合電気設備改善更新工事 芝川ポンプ場

本山ポンプ場 総合地震対策計画

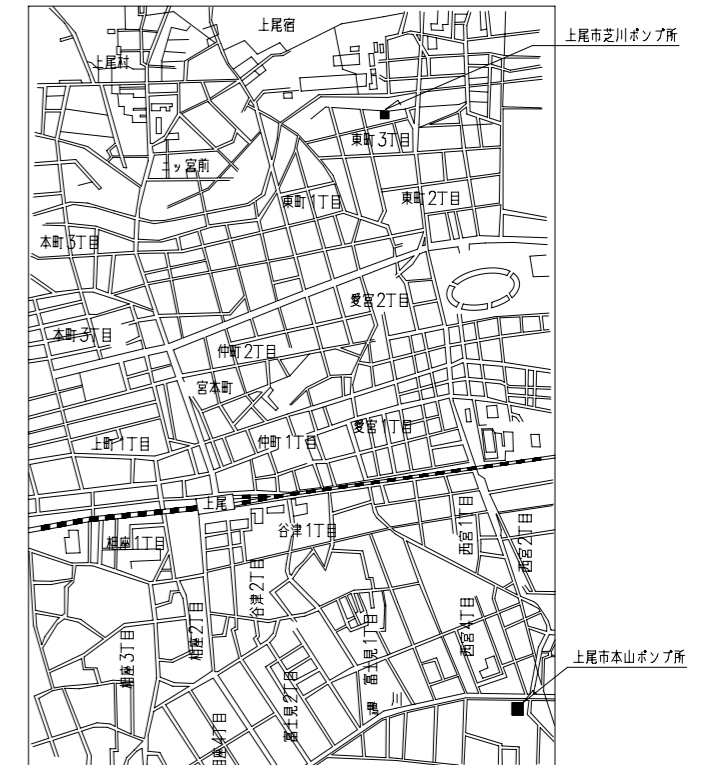
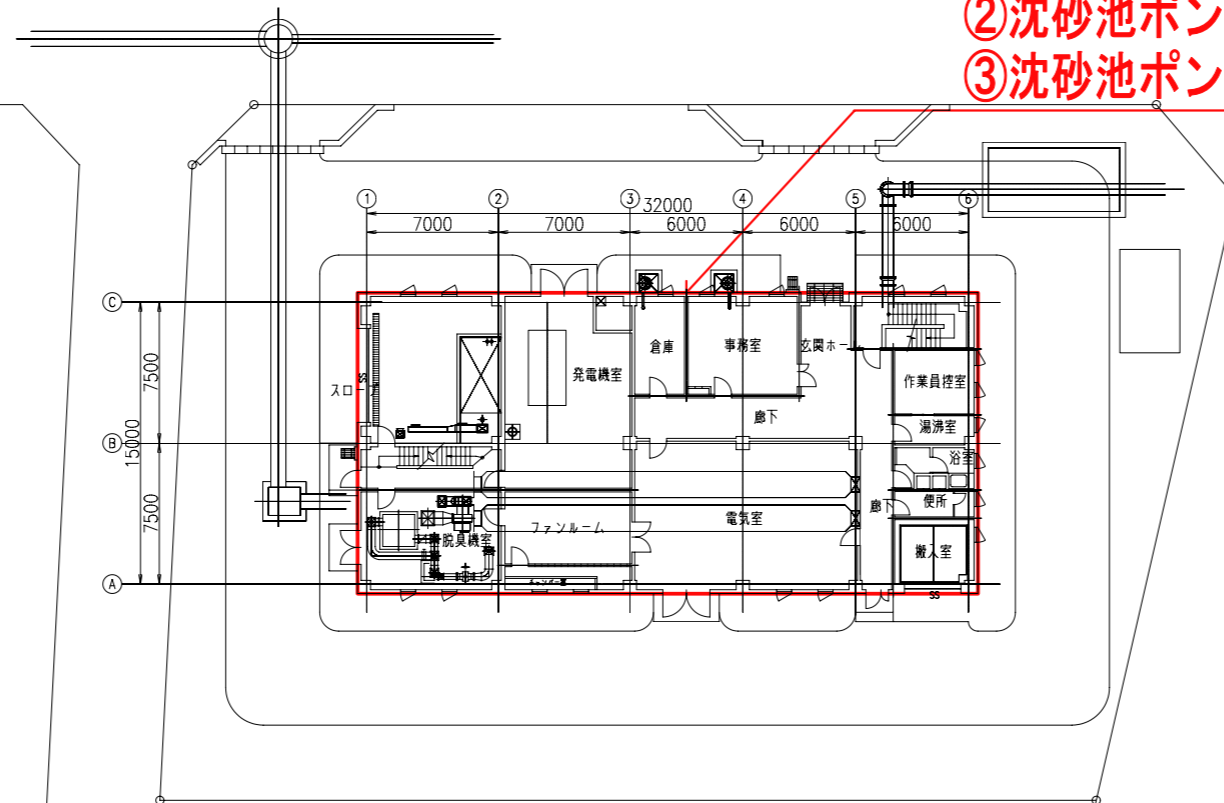
符号	改訂理由	年月日	担当	審査	承認

鴨川

〈防災対策〉

- ①沈砂池ポンプ棟の詳細耐震診断
- ②沈砂池ポンプ棟の耐震補強設計
- ③沈砂池ポンプ棟の耐震補強工事

- ①沈砂池ポンプ棟の詳細耐震診断
- ②沈砂池ポンプ棟の耐震補強設計
- ③沈砂池ポンプ棟の耐震補強工事



案内図

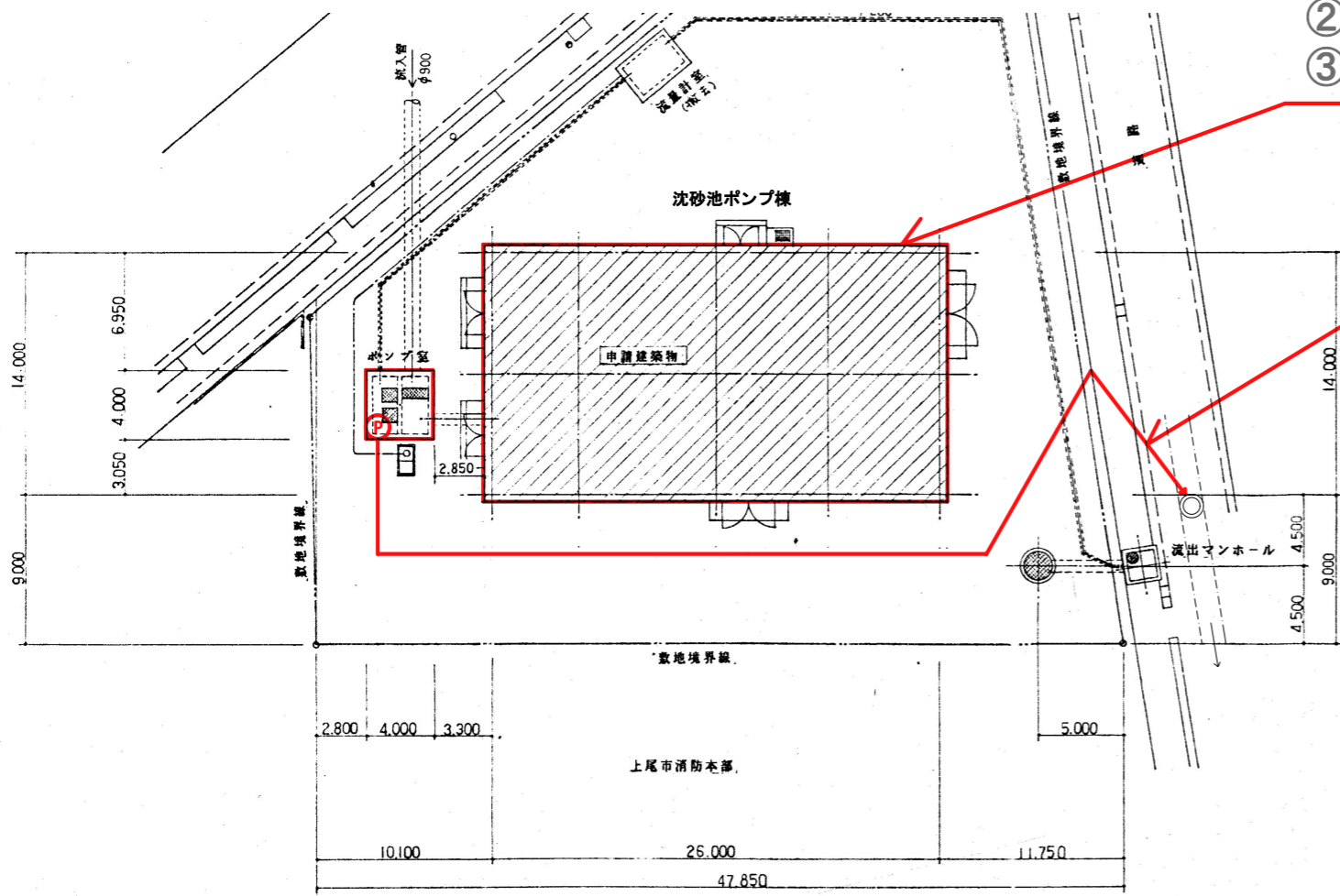
凡例	
—	未耐震かつ今回計画対象外
—	耐震化済み
—	計画期間内施工予定

部番	名称	材質	数量	摘要
台数	尺数	注文主	上尾市長 島村 稔	
1/200	工事名	本山ポンプ場機械設備改築更新工事		
単位mm	第三角法	承認 審査 担当 製図 図面名称		
承認	審査	担当	製図	図面名称
				一般平面図
部番	08VWP7008	登録	前澤工業株式会社	
図番	08W066A001	△		

吉田下ポンプ場 総合地震対策計画

- ①沈砂池ポンプ棟・ポンプ室の詳細耐震診断
- ②沈砂池ポンプ棟・ポンプ室の耐震補強設計
- ③沈砂池ポンプ棟・ポンプ室の耐震補強工事

- ④可搬式ポンプによる揚水・送水



- 〈防災対策〉
- ①沈砂池ポンプ棟・ポンプ室の詳細耐震診断
 - ②沈砂池ポンプ棟・ポンプ室の耐震補強設計
 - ③沈砂池ポンプ棟・ポンプ室の耐震補強工事
- 〈減災対策〉
- ④可搬式ポンプによる揚水・送水

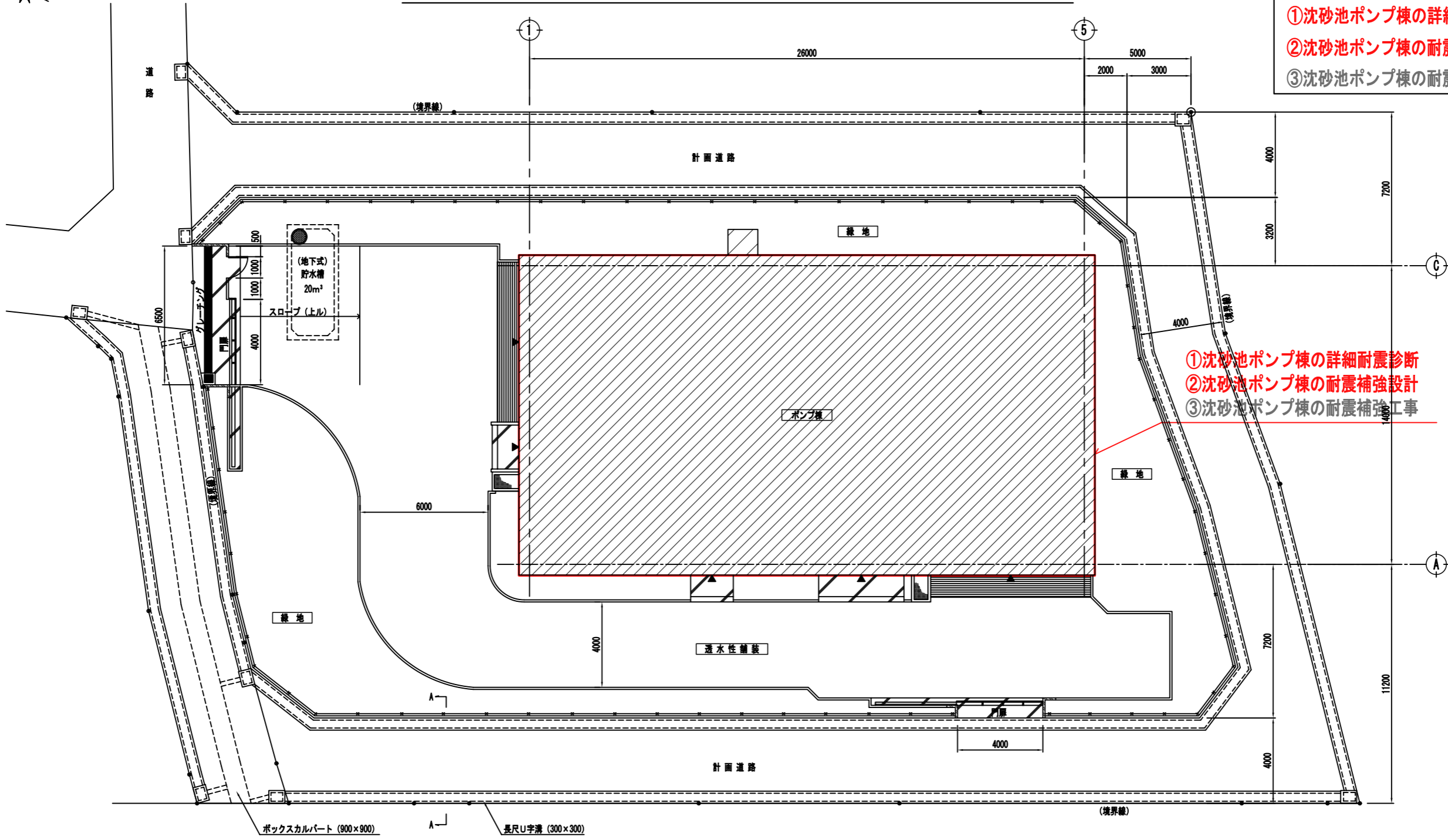
凡例	
—	未耐震かつ今回計画対象外
—	耐震化済み
—	計画期間内施工予定

五番町ポンプ場 総合地震対策計画

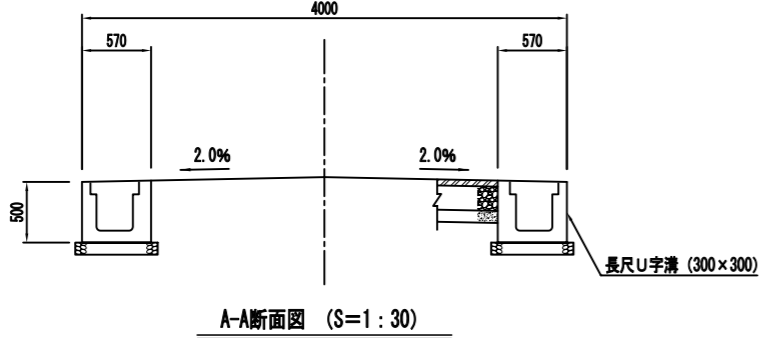
〈防災対策〉

- ①沈砂池ポンプ棟の詳細耐震診断
- ②沈砂池ポンプ棟の耐震補強設計
- ③沈砂池ポンプ棟の耐震補強工事

- ①沈砂池ポンプ棟の詳細耐震診断
- ②沈砂池ポンプ棟の耐震補強設計
- ③沈砂池ポンプ棟の耐震補強工事



(芝川河川敷)



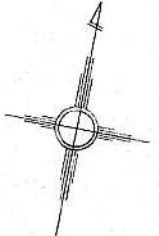
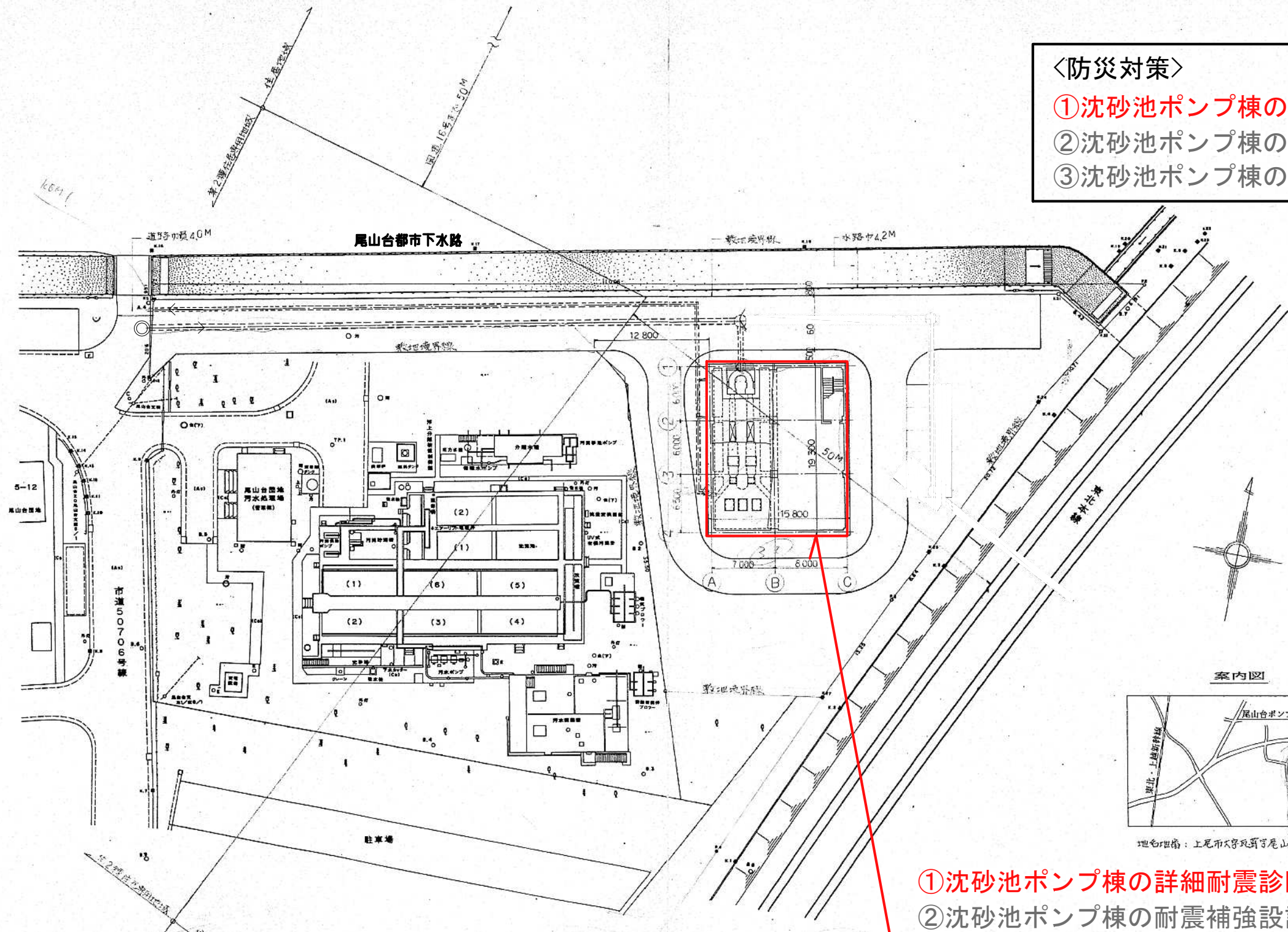
全体配置図 1/100

凡例	
	未耐震かつ今回計画対象外
	耐震化済み
	計画期間内施行予定

年度	平成3年度	上尾公共下水道
工事名	五番町ポンプ場建築工事	
工事箇所	大字原市字三番耕地内	
図面名	全体配置図	
縮尺	1/100	図面番号 A-8
製	長	審
査	係	長
設	計	写
図	原	画
上尾市建設部下水道建設課		

尾山台ポンプ場 総合地震対策計画

- 〈防災対策〉
- ①沈砂池ポンプ棟の詳細耐震診断
 - ②沈砂池ポンプ棟の耐震補強設計
 - ③沈砂池ポンプ棟の耐震補強工事



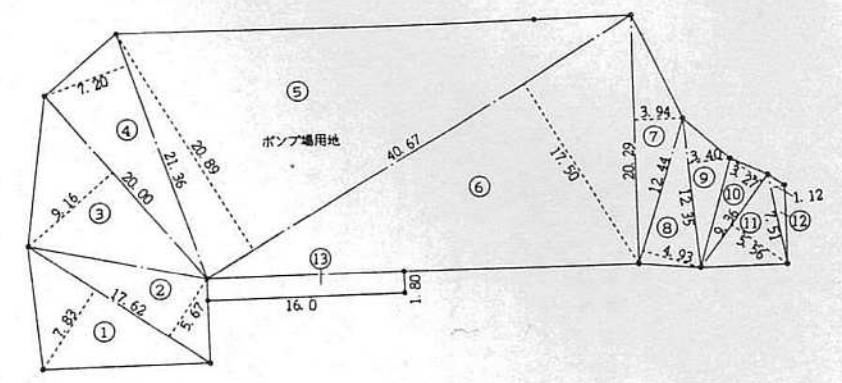
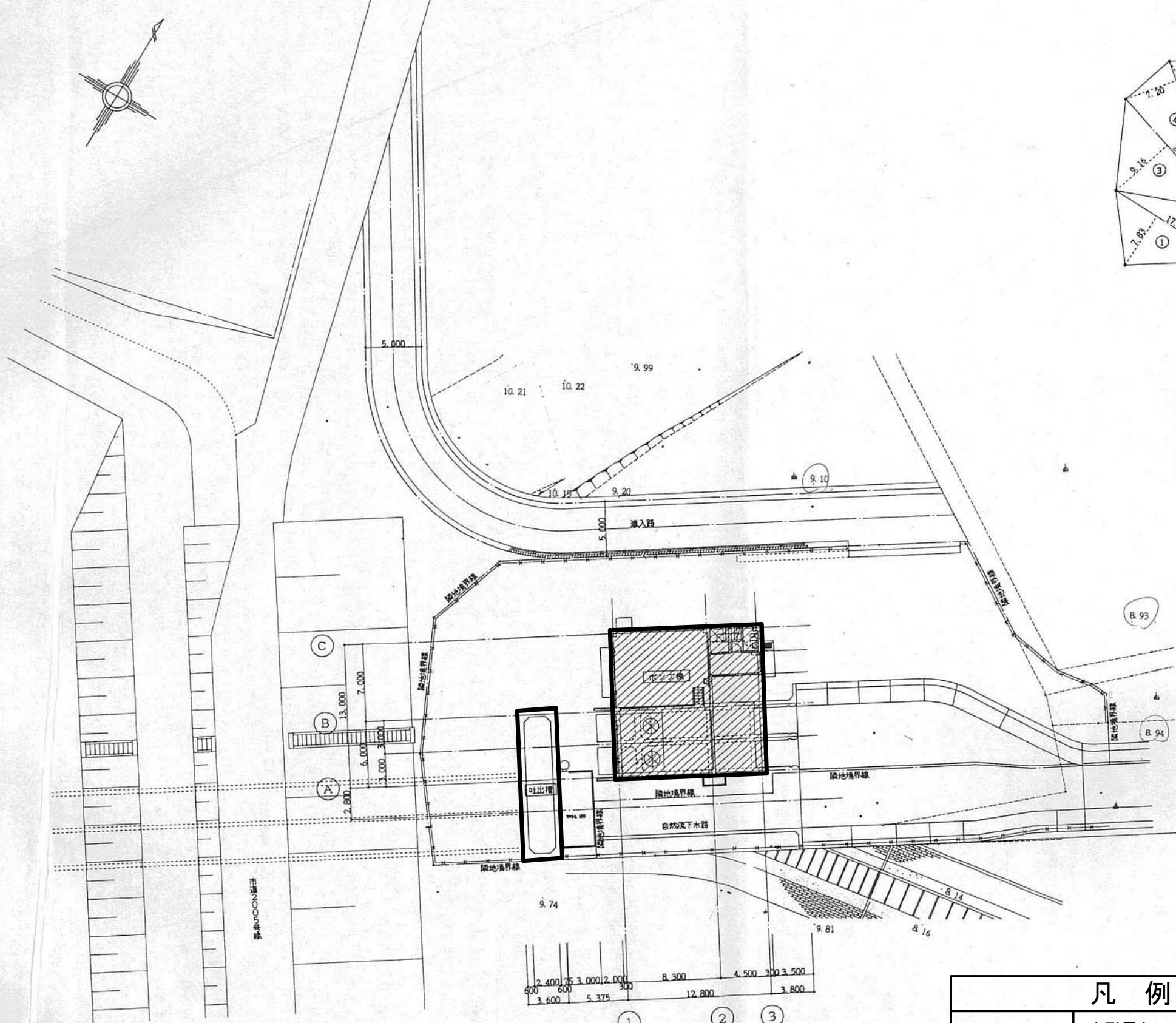
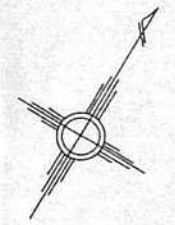
地名地番：上尾市大字瓦葺町尾山2731-7-10 地内

- ①沈砂池ポンプ棟の詳細耐震診断
- ②沈砂池ポンプ棟の耐震補強設計
- ③沈砂池ポンプ棟の耐震補強工事

凡例	
—	未耐震かつ今回計画対象外
—	耐震化済み
—	計画期間内施工予定

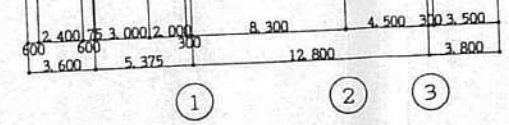
年度	平成 年度	上尾公共下水道
工事名	尾山台ポンプ場土木・建築工事	
工事箇所	大字瓦葺地内	
図面名	西記遊図・案内図	
縮尺	1:250	図面番号 A-E
製図	審査	係長 設計 写図
上尾市建設部下水道建設課		

丸山雨水ポンプ場 総合地震対策計画



敷地求積図 9=1/300

敷地面積求積表			単位 ㎡
記号	底辺	垂線	面積
①	17.62	7.83	68.98
②	17.62	5.67	49.95
③	20.00	9.16	91.60
④	21.36	7.20	76.90
⑤	40.67	20.89	424.80
⑥	40.67	17.50	355.86
⑦	20.29	3.94	39.97
⑧	12.44	4.93	30.66
⑨	12.35	3.40	21.00
⑩	9.36	3.27	15.30
⑪	9.36	5.56	26.02
⑫	7.51	1.12	4.21
	タテ	ヨコ	
⑬	1.80	16.00	28.80
敷地面積 合計			1,234.05



配置図 9=1/200

凡例	
	未耐震かつ今回計画対象外
	耐震化済み
	計画期間内施工予定

年度	平成11・12年度	上尾市河川課
工事名	丸山ポンプ場土木・建築工事	
工事場所	上尾市大字畔吉地内	
図面名	配置図・敷地求積図	
縮尺	1/200 1/300	図面番号 D-5
課長	検査	係長 設計 写図